

施策評価シート(平成23年度の振り返り、総括)

作成日 平成 24 年 5 月 22 日

|    |    |            |     |    |     |     |  |
|----|----|------------|-----|----|-----|-----|--|
| 施策 | 30 | 伝統文化の保護・継承 | 主管課 | 名称 | 教育課 | 関係課 |  |
|    |    |            |     | 課長 | 柳 健 |     |  |

| 施策の目的  | 対象<br>(誰、何を対象としているのか) | 対象指標                  | 単位                  | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度見込み | 把握方法        |
|--|-----------------------|-----------------------|---------------------|--------|--------|--------|--------|---------|-------------|
|  | ①町民<br>②町内の伝統文化       | A                     | 人口(外国人も含む)          | 人      | 22,924 | 22,591 | 22,194 | 21,727  |             |
| B  |                       | 指定文化財数                | 件                   | 95     | 96     | 96     | 96     | 96      |             |
| C  |                       |                       |                     |        |        |        |        |         |             |
| D  |                       |                       |                     |        |        |        |        |         |             |
| 意図<br>(対象がどのような状態になるのか)                        |                       | 成果指標<br>(意図の達成度を表す指標) | 単位                  | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度目標  | 設定の考え方と把握方法 |
| ①伝統文化に対する意識を高め、保護・継承を行う。<br>②適切に保護され、後世へ継承される。 |                       | A                     | 文化財の保護活動を行っている町民の割合 | %      | -      | -      | -      | 0.6     |             |
|  | B                     | 地域の伝統芸能に参加している町民の割合   | %                   | 32.7   | 34.2   | -      | 10.7   |         |             |
|  | C                     | 保護・継承されている指定文化財の数     | 件                   | 95     | 96     | 96     | 96     |         |             |
|  | D                     |                       |                     |        |        |        |        |         |             |
|  | E                     |                       |                     |        |        |        |        |         |             |
|  | F                     |                       |                     |        |        |        |        |         |             |

|             |  |   |                                       |
|-------------|--|---|---------------------------------------|
| 住民と行政との役割分担 | 1. 住民の役割 (住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)                               | 2. 行政の役割 (町がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)   |                                       |
|             | ①文化財を知り、その重要性を認識してもらうとともに、保護啓発に努める。<br>②地域の伝統行事に参加(見る、協力する)し、継承する。<br>③保護行政の理解・協働に努める。 | 1) 町がやるべきこと<br>①認識・保護してもらうための周知…パンフレット作成、案内板設置、HP<br>②建物・史跡・美術工芸・天然記念物等(有形)…保護管理(文化財所有者への助成を含む)<br>③人的(無形)…継承推進、後継者育成<br>④啓発普及活動として、講演会、講座の開催・後援<br>⑤指定文化財別保存管理計画の策定(名胡桃城址保存整備委員会の設立) | 2) 国・県がやるべきこと<br>①文化財保護に係る全般的な指導及び助成。 |
|             |  |   |                                       |

|   |   |  |      |      |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
|---|---|--|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|------|--|
| <p>1. 施策の成果水準とその背景・要因</p>   |   |  |      |      |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
| <p>1) 現状の成果水準と時系列比較（現状の水準は？以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は？）</p> <p>①地域の伝統芸能に参加している町民の割合は、平成20年度32.7%、平成21年度34.2%、平成23年度10.7%と大幅に減少している。アンケートの設問や選択肢の違いによるところが大きいと考えられるが、地域の行事等には気軽に参加できるが、伝統芸能となると敷居が高く限られた人の活動という意識があり、日頃から親しむという感覚はないのではないかと考えられる。</p> <p>②指定文化財数は、平成21年度以降96件で増減していないが、平成23年度において1件が県の指定解除、1件が新たに町の指定を受けた。</p>   | <p>2) 他団体との比較（近隣市町村、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は？）</p> <p>①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は多い。</p> <p>平成24年4月1日現在の各市町村の指定文化財数</p> <table border="1"> <tr> <td>みなかみ町</td> <td>国：8</td> <td>県：21</td> <td>町：67</td> <td>計：96</td> </tr> <tr> <td>沼田市</td> <td>国：5</td> <td>県：14</td> <td>市：74</td> <td>計：93</td> </tr> <tr> <td>片品村</td> <td>国：3</td> <td>県：6</td> <td>村：46</td> <td>計：55</td> </tr> <tr> <td>川場村</td> <td>国：1</td> <td>県：5</td> <td>村：5</td> <td>計：11</td> </tr> <tr> <td>昭和村</td> <td>国：0</td> <td>県：2</td> <td>村：19</td> <td>計：21</td> </tr> </table> | みなかみ町  | 国：8  | 県：21 | 町：67 | 計：96 | 沼田市 | 国：5 | 県：14 | 市：74 | 計：93 | 片品村 | 国：3 | 県：6 | 村：46 | 計：55 | 川場村 | 国：1 | 県：5 | 村：5 | 計：11 | 昭和村 | 国：0 | 県：2 | 村：19 | 計：21 | <p>3) 住民の期待水準との比較（住民の期待よりも高い水準なのか 同程度なのか、低いのか、その他の特徴は？）</p> <p>①文化財の維持修繕、獅子舞等無形文化財の伝承など、文化財を守りたい、継承したいとの声がある。</p> <p>②無形文化財等の保存意識の強い住民から、伝統行事の衣装や備品、神社の修繕等に関する要望が多い。</p> <p>町民アンケートによると、この施策に対する満足度は、満足5.7%、やや満足21.0%、やや不満5.2%、不満2.1%となっている。</p> |
| みなかみ町   | 国：8   | 県：21   | 町：67 | 計：96 |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
| 沼田市   | 国：5   | 県：14   | 市：74 | 計：93 |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
| 片品村   | 国：3   | 県：6  | 村：46 | 計：55 |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
| 川場村   | 国：1   | 県：5  | 村：5  | 計：11 |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
| 昭和村   | 国：0   | 県：2  | 村：19 | 計：21 |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |
| <p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括</p> <p>①古馬牧人形浄瑠璃は、平成23年度には利根沼田伝統古典芸能祭や小中学校伝統芸能教室で公演するなど、公演回数が年々増えている。これらの活動が文化財の保護継承活動につながっている。</p> <p>②県の指定を受ける文化財の整備を行うためには指定文化財ごとに保存管理計画を策定する必要があることから、名胡桃城址保護整備委員会を開催し、専門的協議を重ね、調査報告・保存管理計画の執筆を行った。また、森林整備隊の協力により南面の竹やぶを伐採することができた。これにより、現地は山城らしく見晴らしがよくなり、文化財に興味のある方や観光客等がより多く訪れるようになった。</p> <p>③県指定文化財であった「脇差し 銘上州住憲重作」が、県外の人物へ譲渡されたため指定解除となった。また、「武田勝頼の朱印状」が町文化財として新たに指定され、適切な保護を受けられる状態となった。</p> |   | <p>3. 施策の課題認識と改革改善の方向</p> <p>①国指定史跡の水上石器時代住居跡の発掘調査と整備を文化庁から強く求められている。</p> <p>②文化財の保存整備は、観光的観点と学術的観点の両面から行う場合が多いが、町民の要望は観光的観点からの整備が強い。(名胡桃城址整備等、橋や手すりを設置することが要望されるが、文化財保護の立場からは元の姿を変えられない)</p> <p>③地域住民によって保存されてきた文化財の歴史が、人口減少による継承者不足などによって存続の危機をむかえている。そのため、町としての役割を検討する必要がある。</p> <p>④月夜野郷土歴史資料館については、入館者数が減少する(現在は日曜日のみ開館)など、施設そのものの今後のあり方を検討する必要がある。</p> |      |      |      |      |     |     |      |      |      |     |     |     |      |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |  |